

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.4.5 No.162 連絡先 FAX 042-555-1911



静かな空をもとめて 横田基地周辺住民が東京地裁立川支部へ提訴



3月26日、米軍横田基地の周辺住民が国に対し米軍機の爆音被害の賠償と夜間・早朝の飛行差し止めを求める第2次新横田基地公害訴訟を東京地裁立川支部に起こしました。提訴したのは905人です。

家族だんらんの時間をふくむ午後7時から翌日午前7時までの離発着、エンジン作動の差し止め、被害に対する賠償を求めています。

地裁支部前で開いた集会で原告団長の大野芳一さんは「静かで平穏な生活を勝ち取るために、長年たたかってきた。前回訴訟の高裁判決で、国側の怠慢が厳しく

非難されたにもかかわらず、状況は何ら変わらないまま現在に至っているのは誠に遺憾である。今回の提訴を機に、国には然るべき対応をとって頂きたい。」と決意を述べました。関島保雄弁護士団長は「裁判を続けなければ、被害を減らせない状況について、国に反省を求めている。全国のみなさんとがんばりたい」と述べました。(写真：第2次新横田基地公害訴訟原告団提供)

3月26日は 空・陸 軍事一体化の日 日本国民にとって屈辱の日

3月26日、陸上自衛隊中央即応集団司令部(約300人)が朝霞駐屯地(東京都練馬区)から、米第1軍団前方司令部が置かれるキャンプ座間(神奈川県座間市、相模原市)に移転しました。

2012年3月26日には、航空自衛隊の航空総隊司令部(約760人)が横田基地(東京都福生市・昭島市、立川市、武蔵村山市、羽村市、瑞穂町)に移転しました。横須賀基地(神奈川県横須賀市)と合わせ、海空陸3軍で米軍と自衛隊の司令部が並存する事態となりました。

米軍

自衛隊

海	(横須賀)	在日米海軍司令部/第7艦隊司令部	自衛艦隊司令部
空	(横田)	在日米軍司令部/第5空軍司令部	航空総隊司令部
陸	(座間)	在日米陸軍司令部/第1軍団前方司令部	中央即応集団司令部



司令部の軍事一体化は、米軍再編によるものです。左の表は各年度の防衛予算の米軍再編費用のうち、【抑止力の維持等に資する措置】に分類されているキャンプ座間と横田基地に関する予算です。

海兵隊が抑止力とよく言われますが、日米政府にとっては司令部の日米軍事一体化こそ抑止力なのです。自衛隊をより深く米軍事戦略に組み込むのが狙いです。日米の陸軍は25日、共同声明に署名するとともに、「了解覚書」を承認しました。横田でも「覚書」がありますが、公開せず、まさに密約です。

年度	座間(陸軍)	横田(空軍)
2007年度	0.1億円	143億円
2008年度	15億円	136億円
2009年度	27億円	209億円
2010年度	72億円	56億円
2011年度	4億円	36億円
2012年度	19億円	19億円
2013年度	40億円	10億円
計	177.1億円	609億円

横田日米友好祭 2013年はやらない！ 財政事情で無期限延期 (No. 162 の裏面)

米空軍横田基地は2013年の日米友好祭を無期限延期すると発表しました。これは米政府の財政事情による歳出削減です。すでに米本土ではサンダーバーズのエアショーなど、米軍基地主催によるエアショーを中止しており、横田基地でも、日米友好祭を無期限に延期するものです。(写真は以前の横田友好祭風景)



横田基地では日米友好祭に変わり、2013年度は地域交流行事の参加を検討しているとしています。近隣地域で開催される福生七夕まつり、はむら夏まつり、昭島市民くじら祭、青梅市納涼花火大会、村山デエダラまつりなどの地元行事に参加しており、これに加え友好団体との交流行事にも参加し、地域友好を深めるとしています。

2012年の日米友好祭は2日間で過去20年で最大の17万8000人の来場者がありました。

太平洋空軍 横須賀、座間から横田基地まで戦死者を運ぶ霊柩車を契約

太平洋空軍が、横須賀の海軍病院、座間の陸軍病院から横田基地まで戦死者を運ぶ霊柩車の契約を日本の業者と結びました。落札したのは神奈川県座間市の東礼自動車神奈川サポートセンターです。期間は2013年4月1日～2018年3月31日。米軍は戦争をはじめるつもりでしょうか。

沖縄県議会 「4・28」式典に抗議決議 自民は反対できず退場

沖縄県議会は29日、サンフランシスコ平和条約の発効した4月28日に安倍内閣が開催を決めた「主権回復の日」式典への抗議決議を、自民党会派15人全員が退場する中、全会一致で可決しました。自民会派は、県民世論に真っ向から背いて反対することはできず、退場しました。

決議は、安倍首相がサンフランシスコ条約の発効で日本の主権が完全に回復したとのべていることにふれ、「日本から切り離された沖縄はその主権下になかった。沖縄の人々にとって『屈辱の日』にほかならない」と強調。沖縄は、第2次大戦中に本土防衛の捨て石とされ、戦後も米軍基地被害に日常的に苦しめられているとして、式典開催を「県民の心を踏みにじり、2度目の沖縄切り捨てを行うものであり、到底許されるものではない」と非難しています。

横田基地の一部土地の共同使用について 日米合同委員会合意

2013年3月21日、日米合同委員会で、横田基地の一部土地の共同使用が承認されました。

対象は福生市の約4,500㎡の土地。これは、2006年5月の日米安全保障協議委員会で承認された「再編の実施のための日米ロードマップ」で、航空自衛隊航空総隊司令部及び関連部隊が横田基地に移転することに関連して、一部土地を航空自衛隊が通信鉄塔及び埋設管路を設置するため共同使用することについて、日米合同委員会の承認を得たものと説明されています。

4月1日から航空機騒音の環境基準が WECPNLからLdenへ変わる

航空機騒音の環境基準については、2007年12月17日付けで告示の一部改正が行われました。施行日は平成25年4月1日からで、評価指標を現行のWECPNLからエネルギー積分を行う評価指標であるLden(エルデン)へ変更します。基準値は従来の基準値に相当する値とするものです。

地域の類型	旧基準値	新基準値
I	WECPNL70 デシベル以下	Lden57 デシベル以下
II	WECPNL75 デシベル以下	Lden62 デシベル以下

[Lden とは] 時間帯補正等価騒音レベルのこと。エネルギー積分により騒音の総暴露量を評価。

夕方は+5デシベル、夜間は+10デシベルとして評価する。

